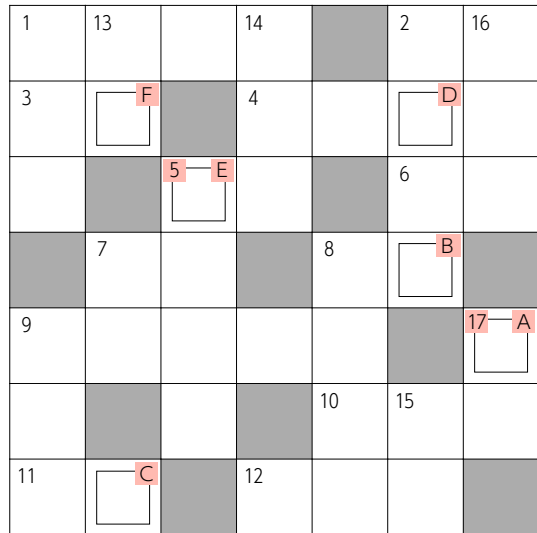


人権クロスワードに挑戦

【廿日市市人権啓発推進協議会連合会】

クロスワードパズルに挑戦しながら、人権について考えてみませんか？
A～Fを順に並べて言葉を作って下さい。



【答え】

A～Fを並べて○○○○○○
ヒント 人KENあゆみちゃん・
人KENまもる君の作者

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

応募方法

ハガキに答え（A～Fでできた1つの言葉）と、①住所、②名前、③年齢を記入し、〒738-8501（住所不要）廿日市市役所 人権・男女共同推進課内 廿日市市人権啓発推進協議会連合会事務局まで。
※個人情報は、記念品の発送のみに使用
正解者の中から抽選でクオカード（500円分）を送ります。
締め切り 12月5日（出）（必着）
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。正解は、1月号に掲載します。

ヨコのかぎ

1. 秋に葉が赤や黄になる
2. 長生きの動物。○○は万年
3. 東京 大阪 名古屋
4. 東京に隣接する県のひとつ
5. キーともいう
6. はまぐり しじみ あさり
7. 青は○○より出でて
8. ○○よりだんご
9. かな文字の日記 紀貫之（きのつらゆき）の作
10. 脱皮すること
11. 三重県 お○○参り
12. はっきりしない、ぼんやりしているさま

タテのかぎ

1. 鷹ではなくて、うぐいす、めじる、ひばり
2. ひらがなの対義語
5. 任務を解くこと
7. 夜明けからしばらくの間
8. ぞうり げた くつなど
9. 時刻を示すもの
13. ○○にひかれて善光寺参り
14. 耳が長くよく飛び跳ねる動物
15. ○○に釘
16. 目がくらみ倒れそうになること
17. 自棄 ○○を起こす

■ひとりひとりが 笑顔で暮らせる まち はつがい

この言葉は、平成26年度に廿日市市で作成された「第3次廿日市市障がい者計画」の基本目標です。

この目標達成のため、障がいのある人を対象にしたアンケート調査や、当事者団体へのヒアリングが行われました。施設入所や病院に入院している人からは、「一人暮らしをしたい」・「家族と一緒に暮らしたい」という声、「障がい者雇用を理解のある職場を増やしてほしい」という就労に関する声、「電車やバスの乗り降りがしにくい」・「車いす用の駐車場が使えなくて困る」といった外出時に困った経験の声などがありました。「自分の住みたい場所に住むこと・働くこと・好きなときに好きな場所に出掛けること」、これは、本来誰にでも保障されている権利です。

■障がい者の権利に関する条約

平成18年、国連でこの条約が採択されました。この条約は、障がいのある人が社会の一員として尊厳を持って生活することを目的とした国際条約です。

これを受けて、わが国でも批准に向け

て、障がいのある人の権利を守るためのさまざまな法整備を長い時間かけて行い、平成26年1月に、ようやく日本でも条約の批准に至りました。つまり、日本でも障がいのある人の権利を守る体制が整ったということになります。

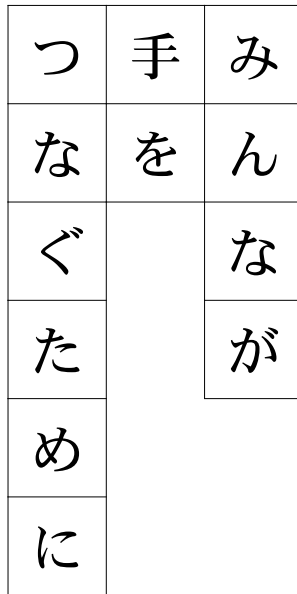
■誰もが支えあう社会のために

例えば、車いすを使う人が、バスや電車など利用する場合、ステップなどの段差があると乗車が難しくなってしまう。しかし、スロープなどを使って段差を解消することで、車いすでも乗車が可能になります。それでも物理的に段差を解消できないことはあります。最近では、電車やバスの場合、乗務員が乗り降りを手伝う姿をよく見かけるようになりました。もし、乗客も一緒に手伝えば、さらにスムーズな利用が可能になります。

このように、乗務員だけでなく、乗客の心の壁が解消できれば、助け合う社会の実現につながるのではないのでしょうか。

12月3日から9日は「障害者週間」です。障がいのある・なしに関わらず、全ての人が互いに支えあう社会の実現をめざし、障がい者福祉について啓発活動が行われます。「障害者週間」に合わせて、ひとりひとりが笑顔で暮らせるまちづくりを考えてみませんか。

この欄は、市民と市職員で構成する「広報人権問題シリーズ編集委員会」が編集しています



～被爆ピアノ～

70年前、広島で原爆の烈火を浴びながら生き延びたそのピアノは、平和を願う人の手によって美しい音色を取り戻し、全国にその願いを広げようとしています。

- 人権フェスタ会場（さくらびあ）
とき 12月5日（出）
12時30分～16時
- さいき文化センター ロビー
とき 12月9日（水）～13日（日）
9時～21時30分
- 大野市民センター ロビー
とき 12月16日（水）～20日（日）
9時～21時30分



人権擁護委員
いちさと なおひろ
市里 尚弘さん

市里尚弘さん、 法務大臣表彰を授賞

VOICE— 人権擁護委員

相田みつをの「やわらかいところ」と言う詩の結びに“そういうわたしはいつもセトモノ”とあります。

その謙虚さを大いに見習いたい。それは思いやりの心にも通じます。

主張はしても相手の言葉に耳を傾ける姿勢を持ちたいものです。

人権とは人々の生活の根底にあります。

人間が人間らしく生きる権利であり、

いのちを大事にすることでもあるといわれています。

足もとを見つめながら自分の弱さを自覚しつつ、

人権の大切さをこれからも伝えていきたいと思っています。

10月19日、法務大臣から、人権擁護委員として永年にわたりその功績が顕著であったとして、法務大臣賞を受賞された市里さん。平成15年から委員として活動し、保育園や小学校での人権教室の開催や、各地域へ出向いての啓発など、精力的に活動されています。

12月4日（金）～10日（木）は、 人権週間です

問合せ 人権・男女共同推進課 ☎9136

人権週間を中心に、さまざまな取り組みを行っています。一緒に人権について考えてみませんか。

人権フェスタ2015

- とき 12月5日（出）
- ところ さくらびあ大ホール
- 開場 12時30分
- 第1部 13時～
- 廿日市市人権作品表彰式（市内の小・中学生、高校生、一般から応募された標語、作文、詩、ポスターの入選作品の表彰）
- 全国中学生人権作文コンテスト表彰式
- 第2部 14時～15時30分（予定）
- 被爆ピアノコンサート朗読・ソプラノ 古本美樹さん、ピアノ ト篠原恵美さん、トーク&コンサート 玉城ちはるさん
- 入場 無料
- ※手話通訳・要約筆記・託児（要予約）あり
- ※駐車場は台数に限りがあります。来場は、公共交通機関をご利用ください

人権作品展



人権イメージキャラクター
「人KENあゆみちゃん・人KENまもる君」

- 第40回廿日市市人権作品入選作品を展示します。ぜひ、来場してください。
- 廿日市市役所 市民ロビー
とき 12月2日（水）～4日（金）
8時30分～17時15分